

## アジア太平洋地域における Wi-Fi利用動向

Wi-Fi はアジア太平洋地域におけるデジタル経済をささえる基盤となっています。 企業はどのようにWi-Fiを活用し、収益にどのような影響を与えているのでしょうか?

※調査期間:2018年4月~5月

## 1. Wi-Fi接続停止による損失

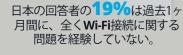


2. Wi-Fiのユーザーエクス ペリエンスに関する問題 3. 日本はWi-Fiのセキュリティとパフォーマンスに対する期待が大きい



**76%** は公共Wi-Fiが 快適に利用できなかっ た経験をしている。

わずか**14%**しか日 常的に公共**Wi-Fi**を利 用していない。



アジア太平洋地域の中で日本 企業のオープンネットワー クへの依存度は最も低い。



## 4. 今後の対応策



効率的かつ管理が簡単で、あらゆるデバイスで高性能なパフォーマンスを発揮する弾力性と拡張性の高いネットワークを構築する。



将来のユーザーのために**802.11axやWPA3**など の最新の接続技術を活用する。



認証および暗号化技術の利用など、 ネットワークにとって最も安全な セキュリティ対策を実施する。

詳細はラッカスネットワークスのウェブサイトをご覧ください www.ruckusnetworks.com/ja

## アジア太平洋地域Wi-Fi利用動向に関する調査は、5つの地域で1200人を対象とした。

- ・ 中国、香港、台湾、オーストラリア、日本、インド、シンガポール、インドネシアの8つの市場からからそれぞれ最低100人を抽出した。
- ・ 企業でデジタル戦略に携わり、事業、及びIT に関する意思決定権を持つ従業員・役員を対象とした。45%は経営陣を含む事業に関する意思決定権を持つ役員、55%は最 高情報責任者などIT に関する意思決定のある従業員・役員が回答者である。
- シンガポールの回答者の82%は従業員250人以上の企業で事業およびIT関連業務に関わる経営陣である。
- フンガホールの自合すの8%は従来員250人以上の正来で事業のよびII 関連
  調査対象の業界は教育、政府、医療、製造、小売、観光・ホテル業が含まれる。